

「誇れる」地域の宝 宮前編 ～まちのいいところ～



伊予源之丞

宮前地区は、人口1万5005人、世帯数6258世帯(平成23年12月1日現在)。かつてはのどかな田園地帯でしたが、昭和30年代後半にひびりヶ丘、みどりヶ丘など大規模な住宅団地が開発されました。また40年代に開通した中央通り(国道437号)は市内への交通アクセスの利便性を高め、人口増加に拍車を掛けました。

「伊予源之丞」と「虎舞」

平成16年、松山観光港に通じる県道バイパスの開通は沿道にさまざまな業種の店舗出店を促し、新たなにぎわいが創出されています。地区には古き良き伝統文化が残ります。一つは県無形文化財に指定される人形芝居「伊予源之丞」。起源は江戸時代に不景氣打開のため上演した人形芝居といわれています。大正時代には九州・中国上海まで巡業していましたが、大正後期に解散状態となりました。その後、昭和10年に有志により再興、34年に伊予源之丞保存会が設立され、現在も保存と伝承に努めています。



虎舞

もう一つは毎年、三津厳島神社の秋祭りで奉納される「虎舞」。起源は、松山城主・加藤嘉明が豊臣秀吉の朝鮮出兵に伊予の兵士を率いて参戦した時に、山中で虎を仕留めた様子を伝える舞といわれています。現在は古三津虎舞保存会が伝承や人材育成に努めています。

宮前地区

地域で市長と話そう！
タウンミーティング
No.15

12月16日開催・宮前公民館・参加者84人

住民の声

・地区の伝統文化である「伊予源之丞」を市のイベントなど

で演じたい
・宮前公民館の駐車場・駐輪場の確保と雨漏り対策をしてほしい

・塾からの帰り、暗くて危ない所があるので、防犯灯を増やすことはできないか
・みどり小学校通学路の安全対策をしてほしい
※抜粋、要約しています。詳細は市ホームページに掲載します



地域の課題などを熱心に話す参加者

参加者募集

第19回 新玉地区

【日時】 2月28日(火)19時～20時30分

【場所】 中央(新玉)公民館(千舟町八丁目) 4階大ホール

【対象】 新玉地区に在住または通勤・通学している人

【定員】 80人程度

【申し込み】 1月31日(火)までに、直接または郵送、ファックス、eメールで、参加申込書(市民参画まちづくり課(市役所本館9階)・市ホームページ(あり))に住所、氏名、電話番号、年齢、性別、勤務先(学校名)、市長と話したいことを書いて、〒790-8571 市民参画まちづくり課 zichi@city.matsuyama.ehime.jp

お問い合わせは、市民参画まちづくり課 ☎948-6338
3・FAX 934-3157

DISCOVER 風早 KAZAHAYA 魅力を発見 風早

知ッゴ! 風早⑥ 難波地区(赤い大根と一茶)
行ッゴ!



庄大根を収穫する女性

難波地区は田畑が広がる静かな田園地帯。農耕文化が色濃く残り、虫折袴や獅子舞など伝統文化が受け継がれています。また当地区大浦にある道の駅「風早の郷」風和里には、新鮮な野菜や魚などを求め、市内外から多くの人が訪れます。

赤い色した伝統の大根
土からチラリと見える赤色がかわいい「庄大根」。150年前から当地区に伝わる赤首大根を、地区名にちなみこの名前と呼んでいます。甘味が強いのが特徴です。

わたしの自慢

庄大根を栽培する坂本さんに聞きました。



坂本 信子さん (庄)

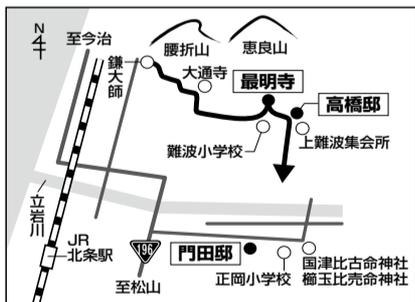
難波は、空気がおいしく自然にあふれた地区です。庄大根はおろしで食べるのがお薦め。きめ細やかな舌触りですよ。

小林一茶に思いをさせて

腰折山の麓、鎌大師の裏に「一茶の道」のスタート



「一茶の道」を散歩する住民



一茶の道コース図

より絶滅しかけた庄大根は、昭和57年に地元農家と行政との協働で復活させ、庄大根研究会が種を引き継ぎ栽培。毎年12月から始まる収穫は大忙しです。本年度からは小中学校給食の食材として本格的に取り入れられ、児童生徒は大根飯などに使用された「庄大根」の味を楽しみました。

地点があります。俳人・小林一茶は寛政7年(1795年)の旅路の途中、難波村の最明寺と高橋邸、八反地村(正岡地区)の門田邸を訪れました。高橋邸には句碑「月籠よき門探り当てるぞ」が建てられています。地元ではこの時歩いたであろう道を「一茶の道」とし、散歩コースなどに活用しています。

新行政改革大綱(案) 意見を募集中

平成24年度から実施予定の「新行政改革大綱(案)」に対する意見をお寄せください。
【閲覧場所】 行政改革推進課(市役所本館4階)、市民閲覧コーナー(同1階)、支所、市ホームページ

【申し込み】 2月15日(木)までに直接またはファックス、eメールで、意見申込書(閲覧場所と同所に設置)に住所、氏名、電話番号、意見を書いて、行政改革推進課 gyoukaku@city.matsuyama.ehime.jp
お問い合わせは、行政改革推進課 ☎948-6213・FAX 934-1843

国際交流サロン 世界で2番目に幸せな国 ドミニカ共和国 2月29日開催

世界の情報や文化に触れる交流会を開催します。
【日時】 2月29日(水)19時～20時30分

【会場】 コムズ(三番町六丁目) 3階多目的室

【内容】 元青年海外協力隊員・桂浦美紀さんによる講話「ドミニカ共和国」発展途上国の生活と驚くべきドミニカ人の価値観、ラテンダンス「サルサ」の体験

【定員】 30人(先着順)

【料金】 300円

【申し込み】 2月1日(木)から直接または電話、ファックス、eメールでまつやま国際交流センター(コムズ1階) inform@dokidoki.ne.jp

お問い合わせは、まつやま国際交流センター ☎943-2025・FAX 931-2041